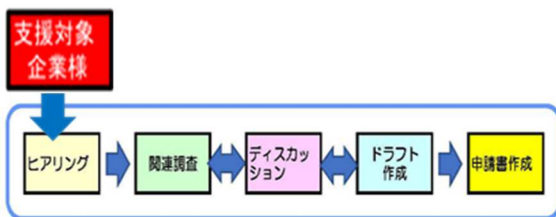


テクノメイトコープの補助金申請支援活動

TMC 補助金委員会では補助金の申請支援を行っています。最近で支援実績が多いのはコロナ禍を受けて令和3年3月から開始の大型予算で、経費として建物費が含まれることが特徴の「事業再構築補助金」、次いで10年続いている「ものづくり補助金」です。前者については第1回から、後者については令和元年度補正予算の1次から現在16次が公募中ですが、10次までのTMCが支援し採択された事業計画名は下表の通りです。

事業再構築補助金	第1回	二酸化炭素超臨界装置の製造業から機能性食品等受託加工事業への事業転換
	第2回	極低温工業用液化ガス高圧ポンプの開発による新分野展開事業
		ロストワックスに新規参入による医療用ロボットロボット関連部品製造の強化
	第3回	超精密極小ロットダイカストで実現する半導体及び医療機器への新分野展開
	第4回	タブレットとリストバンドによる見守りサービスの提供事業
		都市型買物難民への移動販売サービスの提供
	第5回	有機野菜栽培からアミノ酸発酵土壌改良材の製造販売事業へ業種転換
	第6回	商業施設の地下1F(820㎡)を改装し「E学習等」を誘致・事業参加する
	第8回	業界初ベットと共に女性・男性・シニア世代に特化した美容村の形成
		整骨院から古民家改装による「焼肉店」事業への転換
第9回	超速硬化ポリウレタ樹脂による風力ブレード補修事業への進出	
第10回	2件申請支援(申請済)	
ものづくり補助金	4次	超臨界技術を利用した抹茶のカフェイン除去装置の開発
	5次	プレス加工の高付加価値化と生産性の向上
		クイックスプレー設備導入による雨水貯留槽遮水工事の革新
	6次	足場向長尺パイプ外周部へのコの字金具等溶接における生産速度の大幅改善
	10次	遊星歯車の高効率ホーニング加工機の開発
15次	2件申請支援(申請済)	

支援のステップの概要は下図の通りです。



事業再構築補助金では、事業計画書の審査項目には下記のようなものが含まれており、お客様とのディスカッションを通して事業計画書を仕上げしていきます。

- ★補助事業としての適格性:補助事業終了後 3~5 年で付加価値額の年率平均 3~5%以上増加 他
- ★事業化点:進出する事業のマーケットサイズ、優位性の確保、差別化 他
- ★再構築点:SWOT 分析からの導出、費用対効果 他
- ★政策点:GX、DX、雇用の創出や地域の経済成長を牽引 他

今までの経験から、お客様が直面されている課題を具体的に客観的に把握すること、またお客様の事業の強みを把握することが大変大切です。お客様ご自身で強みはよく分析されているとは思いますが、私どもはお客様とのディスカッションを通してその強みをより明確にしています。そして、他社への優位性のある思い切った新しい分野や事業への一貫したストーリーを創り上げることに注力しています。お考えの事業内容により、複数人での対応やTMC 在籍の専門家 OB への協力要請なども行います。

また、ものづくり補助金については、製造業では機械・設備を導入し、生産性の向上、ワンストップの構築、コストダウン、品質向上などにより他社への優位性を保つという例が一般的です。この場合にもやはり設備、装置の導入に合わせて自社の強みを活かした工夫をするということがポイントです。

一方、脱炭素、エネルギー安定供給、経済成長の3つを同時に実現することを目指す構想 GX 実現に向けた基本方針が今年2月に閣議決定され推進されています。上記の補助金にもグリーン枠が設定されています。カーボンニュートラルには省エネも必須であることから、省エネ補助金が継続されています。省エネ補助金を効果的に活用することもコストダウンにつながります。支援事例は少ないですが、実績があります。それら以外にも NEDO、JST、サポインも経験があります。補助金申請をお考えの際は、お気軽にお問い合わせ頂ければと存じます。

☆ 本欄は企業への説明にご活用ください。